



むなかた地域公共交通シンポジウム開催 ～「定住都市むなかた」の実現に向けて～

10月1日からおこなわれている「むなかた・別府ミニデスティネーションキャンペーン」の一環として、“むなかた地域公共交通シンポジウム～「定住都市むなかた」の実現に向けて～”を開催します。

今回開催するシンポジウムは市民が地域公共交通の利用を考えるきっかけとなることを目的に市で初めて実施します。

当日は交通や観光に精通した有識者による基調講演やパネルディスカッション、電気バスの展示をおこないます。

「定住都市むなかた」の実現のために、持続可能な地域公共交通のあり方について理解を深めます。

●日時 令和5年11月26日(日) 13:00～16:00

●場所 Royal Hotel 宗像 (宗像市田野1303)

●内容

(1) 宗像市の地域公共交通の取組みについて

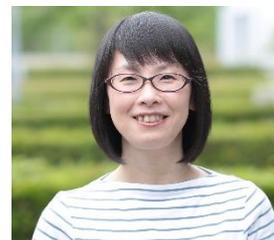
(2) 基調講演 「「残す」から「生かす」へ ～地域の公共交通を守る市民の力～

田中 輝美 氏 (ローカルジャーナリスト・島根県立大学准教授)

元地方紙記者。ローカルジャーナリストとして、変わらず島根に暮らしながら地域のニュースを記録、発信している。

その傍ら20年かけてJR全線を乗り、完全乗車達成。

総務省ふるさとづくり懇談会委員。



田中 輝美氏

(3) パネルディスカッション

「地域公共交通を持続可能なものにするために ～公共交通の利用を促進する～」

ファシリテーター 大枝 良直 氏 (九州大学 准教授)

宗像市出身、宗像市地域公共交通会議 副会長

パネリスト

伊豆 美沙子 (宗像市長)、長野 恭紘 氏 (別府市長)、

稲永 健太郎 氏 (九州産業大学 教授)

田中 昭彦 氏 (西鉄バス宗像株式会社 代表取締役 社長)

上符 友則 氏 (九州旅客鉄道株式会社 執行役員 総合企画 地域戦略部長)

田中 輝美 氏 (ローカルジャーナリスト、島根県立大学准教授)

●募集定員 90人(10月31日(火)から募集開始)

●募集方法 参加応募フォームにて応募(先着順)

●その他

・後日、録画配信を実施予定

・電気バス、パネルの展示は参加募集不要



参加応募フォーム

【問い合わせ先】 ※ご取材いただける場合は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

取組内容、取材の申込みについて

宗像市 都市再生課 担当:小田・日野 Tel:0940-36-9777